
鳩

土田かこつ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

鳩

【Zマーク】

Z25680

【作者名】

土田かこつ

【あらすじ】

帰り道に会った、小さな生きもの。

命の終わりを知りながらそれでもなおあがく姿に、同情じゃない共感と憐れみじやない敬意を込めて。

生きものが死んでいくのを初めてみた。

いつまでたつても慣れない仕事を終えて、なかば放心したまま駅に向かう帰り道。

時期の終わった桜並木の川沿いのむこうに、はた、はた、とは何かがためいているように見えた。

ポイ捨てされたコンビニ袋かなにかだろうか。

が、そのかすかな動きは風のせいではなかつた。

そのモノ自身の力で、はた、はた、と不自然なリズムを刻んでいる。鈍い灰色のかたまりが見えた。

鳩。

はた、はた、とコンクリートを叩いているのは片側の翼だ。金属みたいな灰緑の首筋、その先にあるはずの頭がきつちり90度に折れていた。

もう一方の翼は身体の下になっている。

車のフロントガラスにでも衝突したんだろうか。

(バカだな。)

ぼうっとしてゐるからだ。

かわいそうというよりはむしろ一方的な共感を感じて、灰色の体をながめた。

踏みつけられた落ち葉でまだになつたコンクリート。横になつた体は傷もなく妙に綺麗で、曲がった首さえなければただ眠つてゐんじゃないかと思つただろう。

はた、はた。

はた、はたた。

翼が刻むリズムが不規則に、だんだん間遠になつていく。

（死ぬ。のか、）

まだ生きているのに。

わけもなく焦れた。

人が見たらたぶん不審人物だろう。死にかけの鳩の前でずつとつ
たつてているなんて。頭の隅で想いながら、それでも目が離せなかっ
た。

今、こいつは何を感じているんだろう。

（苦しい？）

鳴きはしない。
暴れもしない。

もうそんな力もないんだろうか。

なら痛いとか苦しいとか、そんなことも感じなくなってるんだろう
か。

でも動いてる。かすかに、たしかに、コンクリートを叩く。訴えて
いる。

（生きたい、とか思うんだろうか）

間抜けな鳩。不注意の事故。

はたして私だつたら、生きたいと思うのか。

生きたいと訴えられるんだろうか。助けてくれる手なんかないとわ
かつていて。

汚い。氣味が悪い。不衛生だ。

やつてくるのは獣医ではなく保健所だとわかつていて。

あきらめるほうが簡単だ。

痛みから逃げるように、早く眠り、眠つてしまおう。

灰色の翼がコンクリートをすつた。
もう叩くことも出来ていない。

獣医は呼ばない。保健所も呼ばない。
このまま終わりまで見届けよう。

動かなくなつた小さな体を川原の土手まで持つていった。
最期まで生きとおした鳩に敬意を表して手を合わせる。
せめてあとと土にかえりますよつ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2568o/>

鳩

2010年10月11日18時35分発行